

## 選考資料



※ここに列挙しているものは、広報しずくいし並びに教育しずくいしなどから拾い上げた町の出来事の一部です。  
「記入用紙」に、あなたが選ぶ10の候補の**応募番号をご記入ください**。掲載事項以外でも、10大ニュースにふさわしい出来事がありましたならご自由にお書きください。

月	日	内容	応募番号
12	4	中央公民館野菊ホールで、歳末助け合い運動の一環として雫石町歳末助け合いチャリティショー（同実行委員会主催）が開催。約340人が来場。	⑫-1
	9	シーズンの安全と盛況を願う町内3スキー場合同安全祈願祭が開催。	⑫-2
	22	いわて農林水産振興協議会（会長：達増拓也岩手県知事）主催による令和4年度いわて農林水産躍進大会が岩手県民会館で行われ、本町から株式会社重次郎が「意欲ある担い手賞（農業部門）」を受賞。	⑫-3
	27~29	小学校5~6年生で編成される12球団のジュニアチームが出場するNPB12球団ジュニアトーナメント2022に、御明神小学校6年生の米田秋斗さんが楽天ジュニアメンバーとして出場。チームベスト4に大きく貢献した。	⑫-4

月	日	内容	応募番号
1	6	昭栄建設株式会社（武田克彦代表取締役社長、本社盛岡市）より、本町の地方創生の取り組みに関する企業版ふるさと納税として、10万円を寄付いただく。	①-1
	8	令和5年成人式が開催。成人式には122人が出席。夢と希望を胸に新たな一歩を踏み出す。	①-2
	8	令和5年雫石町交通指導隊初点検式・消防出初式を実施。安全・安心のまちづくりへ誓いを新たにした。	①-3
	12	「笑おう！楽しもう！こども落語体験ワークショップ&落語会」が中央公民館野菊ホールで開催。「落語ワークショップ」では実際に高座へ座って「そばを食べるしぐさ」や「お経をあげる表現」に挑戦。後半の落語会では、六華亭遊花さんや桂枝太郎さんの落語に会場が笑いにつつまれ、楽しいひと時を過ごす。	①-4
	18	種雄牛造成で多大な功績のあった人に授与される「県有種雄牛造成功労賞」を故・天瀬光智さん（天瀬）が受賞。	①-5
	21	雫石高校（佐々木佳史校長、生徒70人）で、44回目となる雪上運動会が開催。グラウンドの積雪状態が悪く、体育館での開催となった。	①-6
	22	西山公民館で「にしやま住民意見交換会」（主催：西山地区地域運営組織設立準備委員会）が開催され、住民や地域関係機関など総勢56人が参加。	①-7
	23	復活第43回雫石裸参りが厳寒の中開催。参加した祈願者25人は、雫石町発展、疫病収束などを願いながら、上町の三社座神社から下町の永昌寺まで約1.2キロメートルの道のりを威風堂々と練り歩いた。	①-8
	31	台湾からの教育旅行誘致を図るため、台湾の高校関係者3人を招き雫石町や盛岡市など県内を巡る台湾訪日教育旅行モニターツアー（主催：盛岡広域振興局）が、1月30日から2月3日にかけて実施される。	①-9

町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募番号
2	1	盛岡広域8市町のごみ処理事務を担う盛岡広域環境組合（管理者・谷藤裕明盛岡市長）が発足。同組合は一般廃棄物処理計画の策定、ごみ処理施設とエネルギー利活用施設の設置・管理・運営などを担う。また、2028年度から新たな処理施設を盛岡市上厨川の盛岡インターチェンジ付近に整備する予定で、2032年度の稼働開始を目指す。	②-1
	2	地域の農業・農村の振興に意欲的に取り組んでいる農業者として、櫻田大河さん（駒木野）が岩手県知事から「岩手県青年農業士」に認定される。	②-2
	2	雫石中学校が1978年から行ってきた「国道清掃活動」が、地域の環境美化に大きく貢献していると認められ、（公社）食品容器環境美化協会より第23回環境美化教育優良校等表彰事業「優良校・協会会長賞」を受賞。	②-3
	4~12	54年の歴史に幕を閉じた「いわて雪まつり」に代わる新たな冬季誘客イベント、冬ならではの遊びや雪を楽しむ「雫石・冬フェスタ in 小岩井農場～HOT&SNOW～」（主催：雫石町、企画・運営：小岩井農場）が、2月4日から12日まで開催。自然豊かで開放的な小岩井農場に親子の楽しげな声が響き渡り、9日間の総来場者数1万1,500人が雫石の冬を楽しんだ。	②-4
	10	「しずくいし雪灯り2023」（主催：雪灯り2023実行委員会、協力：雫石商工会青年部、よしやれ通り周辺JV.、雫石中学校）が雫石町まちおこしセンターしずく×CAN 前を会場に開催。	②-5

## 町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募番号
3	1~18	町内の小中学校、高校で卒業式を挙行。計264人が母校での教えと思い出を胸に、それぞれの未来に向かって羽ばたく。	③-1
	4	旧西根小学校体育館でアーチェリーミニ記録会が開催。当日参加した50人は、それぞれが高得点を目指的に向かって一直線に矢を放ちアーチェリーに親しんだ。	③-2
	5	町防災コミュニティセンターで、町消防団第3分団第5部に配備される消防ポンプ自動車の引渡式が行われる。同部に配備された消防ポンプ自動車は28年ぶりの更新となった。	③-3
	24	こくみん共済 coop岩手推進本部（盛岡市、佐藤伸一本部長）より、町に250本の横断旗を寄贈いただく。	③-4
	25、26	道の駅雫石あねっこで施設のリニューアルオープン記念イベントが開催。25日には温泉館ロビーで、雫石町イメージソングの発表会およびCD 販売会が行われ、地元女子高校生ユニット「ドロップストーンシンガーズ」と道の駅駅長の佐々木木さんが曲を披露。町の魅力が詰まった歌に、観客も笑顔と手拍子で盛り上がる。	③-5
	26、28	町内初の地域運営組織となる「西山まちづくり会議（松原久美会長）」と「御明神みらいづくり協議会（米田武美会長）」が設立される。地域運営組織は、地域の暮らしを守るため、住民による課題解決や集落活動などの補完・活性化を目的に活動する組織。	③-6
	28	世界アルペン記念大会実行委員会解散総会が開催され、実行委員15人が出席。同大会は、1993年に東洋初の開催となったアルペンスキー世界選手権大会のレガシーをつなぐ大会として、翌年の94年から開催されたもので、継続した大会運営体制の構築が難しい状況となり、2022年の大会で終了することを決定したため解散に至った。	③-7

月	日	内容	応募番号
	1	小谷地昇さん（中沼・65歳）が、新たに町消防団長に任命される。	④-1
	5	雫石町鳥獣被害対策実施隊として新たに10人を任命。同隊員は今回任命された10人を加え、総勢49人（男性41人、女性8人）となり、有害鳥獣の捕獲や鳥獣被害防止対策の指導、普及活動に取り組む。岩手大学農学部1年の徳田陽与さん（元御所）は最年少での入隊となった。	④-2
	7~8	町内の小中高校で入学式が行われ、小学校111人（5校）、中学校121人、雫石高校21人の新入生が新しい日々への期待を胸に学校生活をスタートさせる。	④-3
	中旬	全国各地で桜の開花が観測史上最早を記録。町内の学校の入学式に桜の花が顔を出す異例の年となる。雫石川園地、弘法桜、よしこ桜、小岩井中丸桜並木の桜は14日ごろ、小岩井農場の一本桜は17日ごろ満開になり、昨年より2週間ほど早い開花となった。	④-4
4	15~16, 22~23	旧橋場小学校で「「岩手」の「若手」フレッシュクラフト展 いわ「手」から3」（旧橋場小学校さおでんせ会主催）が開催。県内各地から15の工房が集結し、会場には木製の食器や家具などが展示された他、羊毛の糸軸体験も行われ、来場者は自然素材に手を触れながらそのぬくもりを感じていた。	④-5
	20	御明神小学校4年生9人が、町の天然記念物チョウセンアカシジミの繁殖を目指し、竜川河川敷に地域の方々の指導のもと、デワノトネリコを20本植樹。御明神小学校はコミュニティ・スクールとして、地域と協働しチョウセンアカシジミの保護活動に取り組んでいる。	④-6
	23	盛岡中津川ライオンズクラブ（鈴木史章会長、会員49人）の会員17名が、雫石川園地の桜並木通りの清掃活動を行う。	④-7
	25	雫石川に鯉のぼりを泳がせよう掲揚式が開催され、西山小学校の1年生21人が参加。天候にも恵まれ、約100匹の鯉のぼりが児童の手によって雫石川上空に掲揚された。鯉のぼりの掲揚は今回で29回目。	④-8
	29~30	いわて雫石アーチェリーセンターのグランドオープンを記念し、式典と現役選手との交流イベントが開催。東京五輪個人・団体に銅メダルを獲得した古川高晴選手をはじめとした日本のトップ選手のほか、韓国団代表らが参加し、テープカットや記念行射で施設の完成を祝福。的の中心に向かって一直線に放たれた矢に来場者からは大きな拍手が送られた。	④-9

## 町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募 番号
5	7	「元祖!しずくいし軽トラ市」(同実行委員会主催)がよしゃれ通り商店街を会場に開催され、19年目の軽トラ市が幕を開ける。来場した約7,300人の皆さんは54台の軽トラックに並べられた野菜や山菜、惣菜などの買い物、町のイメージソングを歌う“ドロップストーンシンガーズ”によるライブステージなど、軽トラ市を存分に満喫した。	⑤-1
	9	雫石郷土芸能伝承活動細川会(細川智子代表)が、「細川会創立48周年・第40回記念チャリティー発表会」の収益金の一部を、町を通して町社会福祉協議会に寄付。同発表会の寄付は初回から続けられ、今回で40回目を数える。	⑤-2
	12	七ツ森小学校3年生12人が「雫石と宮沢賢治を語る会」6人から指導を受け、おきな草を植栽。この活動は2010年に始まり14年目の開催となる。	⑤-3
	13	雫石大火警鐘不忘(けいしょうふぼう)の会(上野昭成会長)は2年ぶりに、雫石大火発生の日である5月13日に下町の臨濟寺境内南側に建つ祈念碑周辺を清掃し、防火への思いを新たにしました。	⑤-4
	14	雫石町総合運動公園および町内特設コースを会場に「第39回岩手山ろくファミリーマラソン」が開催。同大会は新型コロナウイルス感染症の影響で第36回から第38回までが中止となり、4年ぶりの開催となった。最遠方は東京都、最高齢は秋田県の83歳と、全国各地から幅広い年代のランナー850人以上が参加し、春の田園風景などを楽しみながら完走を目指した。	⑤-5
	20	西山地区のサクラソウ群生地である銀河の森で、第16回サクラソウサミット(雫石「銀河の森」野生サクラソウの会主催)が行われる。	⑤-6
	30	NPO法人しずくいしが、町中央公民館野菊ホールで開催した「令和5年NPO法人しずくいし春のチャリティーショー」の収益金を町を通して、町社会福祉協議会に寄付。	⑤-7

## 町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募 番号
6	1	秋田駒ヶ岳の山開きが行われる。4年ぶりに秋田県仙北市と合同で記念登山を実施。男岳（1,623メートル）山頂にてピッケル交換や万歳三唱などが行われ、4年ぶりに登頂の喜びを分かち合いました。	⑥-1
	3	アウトドア観光推進の一環として「shizukuishi 山岳 トークセッション」を開催。トークセッションにはスイス在住の登山家田村真司さんが地元関係者と対談し、資源を生かした観光のあり方や課題を共有した。	⑥-2
	11	令和5年度消防操法等競技会が開催。競技会には、ポンプ車の部に8隊、小型ポンプおよび規律訓練の部に各4隊が出場。消防操法競技に求められる操作の三原則「安全・確実・迅速」を追求し、訓練を重ねて磨いた技量を遺憾なく発揮した。	⑥-3
	15	岩手河川国道事務所（近藤修所長）が建設している、長山小松倉の「うさぎ平西沢砂防堰堤」で、西山小学校（阿部智子校長、132人）の6年生20人が参加した植樹式が開催。	⑥-4
	15	雫石中学校家庭部20人が元御所地内のほ場でりんどう苗の定植と花摘み体験を行う。同部は、農産物の生産・加工などを行う「6次産業化」の活動にも取り組んでおり、今回摘んだりんどうも部活動の一環としてドライフラワーに加工する予定。	⑥-5
	22	雫石町営陸上競技場で第57回雫石町小学校陸上記録会が開催。6年男子100mで大会タイ記録となる13秒4を御明神小学校の伊藤謙進さんが記録した。	⑥-6
	27	第16回滝沢・雫石連合畜産共進会が、全農岩手県本部中央家畜市場で4年ぶりに開催。黒毛和種の部第3類で前茂見さん（中南行政区）の「ひよ号」が名誉賞に輝く。	⑥-7

## 町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募番号
7	1	雫石町・滝沢市・八幡平市主催による岩手山(2,038メートル・日本百名山)の山開きが行われ、町は御神坂登山口で神事を行い、今年一年の山の安全を祈願。山頂交歓会も行われた。	⑦-1
	1	雫石小学校(小林満校長、児童数271人)の1・2年生92人が、雫石商工会女性部(櫻靴節子部長)の部員とともに、七夕の短冊の飾り付けを行う。制作された七夕飾りはよしゃれ通り商店街に飾られ、商店街を華やかに彩る。	⑦-2
	2	令和5年度雫石町消防演習が実施され、町消防団(小谷地昇団長)、町婦人消防協力隊(櫻小路孝子隊長)などの団員・隊員ら190人と消防ポンプ車18台が集結。参加者は、日頃の活動の成果を存分に披露し、安全安心なまちづくりへの誓いを新たにした。	⑦-3
	6	雫石中と矢巾北中の文化交流会が開催される。矢巾北中生徒の「雫石中の応援団を見てみたい」という声を受け実現。雫石中は、応援団、チアリーダー、吹奏楽部による「雫中魂」のこもった応援を披露。合唱で全国大会にも出場した矢巾北中は「青葉の歌」を披露した。	⑦-4
	23	任期満了に伴う雫石町議会議員選挙が、7月18日に告示、23日に投開票が行われる。現職13人、元職1人、新人2人の計16人が当選を果たす。	⑦-5
	26~29	富士市・雫石町少年交流事業が行われ、雫石町の児童25人が富士市を訪問し、富士市児童29人と3泊4日で交流を深めた。	⑦-6
	27~31	東京藝術大学器楽科の学生ら有志約30人が合宿のため来町。28日には、七ツ森小学校金管バンドとの合同リハーサルが行われ、プロを目指す学生らのアドバイスを受ける。29日に小岩井農場まきば園でのミニコンサート、30日に野菊ホールでメインコンサートを実施。メインコンサートでは、優しさと力強さを兼ね備えた演奏から、七ツ森小学校金管バンドとのコラボ演奏、野菜を使った楽器作りコーナーといった演出で来場者を楽しませました。	⑦-7
	28~29	町総合防災訓練は7月28日~29日の2日間、岩手県総合防災訓練の一環として行われる。岩手山の噴火による降灰と大雨による土石流災害を想定して行われ、町内から約700人が参加した。	⑦-8

月	日	内容	応募番号
8	6~7	「第21回南部よしゃれ全国大会」（雫石町・南部よしゃれ全国大会実行委員会主催）が開催。岩手県内外から唄の部に約89人、踊りの部に10団体が出場。野菊ホールに響き渡る伸びやかな唄声や息の合った華麗な踊りに、観客からは大きな拍手が送られた。	㊸-1
	9	2013年8月9日に本町を見舞った豪雨災害から10年を迎える。町広報紙では防災に関する特集を掲載した。	㊸-2
	11	第53回雫石よしゃれ祭が開催。4年ぶりに3会場での通常開催となる。詰めかけた約6,200人の観客は、伝統のあねっこ姿や色とりどりの衣装に身を包んだ出演者らの踊りに酔いしれた。	㊸-3
	21	「第45回御明神夏まつり」が4年ぶりに通常開催。盆踊りや舟っこ流し、とうろう流しが再開された。晴天の下盛大に打上げられ、会場からは花火が上がるたびに大きな拍手と感動の声が上がり、御明神地区の夏の終わりを彩った。	㊸-4
	22	国道46号で不審なナンバープレートを付けた車に警察が職務質問しようとしたところ車が逃走。カーチェイスの末、車は滝沢市内や雫石町内に乗り捨てられ、乗っていた男らが逃走する事件が発生。町は警察と連携し、防災行政無線や防災アプリで周知を図るとともに目撃情報を募った。巖岩雅信さん（黒沢川）は自宅近くで見慣れない人物や車を目撃し、警察に通報。約1時間後逃走犯5人が確保された。巖岩さんには盛岡西警察署から感謝状が贈呈された。	㊸-5
	22	第20回よしゃれの里グラウンド・ゴルフ交流大会が開催。町総合運動公園グラウンド・ゴルフ特設コースに県内や秋田県、宮城県から約300人の愛好家が集った。雫石町からは39人が参加し、小田チヨさんが白ブロック準優勝を飾った。	㊸-6
	27	ベアレン雫石工場前を会場に「ベアレン×雫石ビアフェス2023ベアレン雫石ホップ収穫祭」（㈱ベアレン醸造所主催、しずくいしホップチャレンジ、町共催）が4年ぶりに開催。	㊸-7

## 町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募 番号
9	1	小原千里さん（元町職員、現町防災アドバイザー）が、令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。小原さんは、岩手山の火山活動が活発化していた1999年以降、秋田駒ヶ岳および岩手山の地熱域や植生についての継続した調査、県内の火山活動状況について把握するための検討会へのオブザーバーとしての参画など火山活動状況の適切な評価実施に多大な貢献をされてきた。	㊟-1
	2~3	山形県で開催された「第20回ジョイフルスローピッチソフトボール全国大会」で、チーム「雫石よしやれ」が混成の部優勝を果たす。	㊟-2
	7	昭栄建設株式会社（武田克彦代表取締役社長、本社盛岡市）より、有害鳥獣捕獲機材2種とわなの修理機材を寄贈いただく。同社による有害鳥獣対策に対する寄付は昨年に引き続き2回目となる。	㊟-3
	9~10	イオンモール盛岡で雫石町伝統芸能フェスティバルが開催され、町内の伝統芸能団体4組が演舞を披露し会場を沸かせた。	㊟-4
	23~10/6	雫石中出身のプロバスケットボール選手、細川一輝選手（愛知県・三遠ネオフェニックス所属）が、9月23日より中国・杭州で開催される第19回アジア競技大会バスケットボール日本代表チームメンバー12人に選出され、Akatsuki Japan入りを果たす。大会では、対インドネシア戦でスリーポイント5本を含むチームハイの17得点を記録するなど躍動した。	㊟-5

町民が選ぶ町の10大ニュース 選考資料

月	日	内容	応募 番号
10	8~9	町の新たな音楽イベント「軽音楽FESTIVALin雫石2023」が開催。初日のオリジナル楽曲コンテスト大会にはティーンズ部門1組と一般部門13組が参加。ロックバンドやフォークソングの弾き語り、オヤジバンドによる往年のロックンロールなど多彩な音楽が会場に響き渡り、それぞれが独自の世界観を届けた。	⑩-1
	16	上野幸彦さん（六区）が、防犯荣誉銀章を受章。防犯荣誉銀章は、多年に渡り防犯活動に尽力し、犯罪の防止に特に顕著な功労があった人に表彰される。	⑩-2
	19	活火山を有する全国104の自治体関係者らが集う「2023火山砂防フォーラム」が町中央公民館野菊ホールで開催。西山小学校（阿部智子校長、児童数132人）の6年生20人が岩手山の「恵み」と「防災」の2チームに分かれて研究した成果発表や岩手山の魅力とそれを生かした地域づくりに関するパネル討論会を実施。	⑩-4
	21~22	町総合運動公園を会場に「2023しずくいし産業まつり」（同実行委員会主催）が開催。「市場のせり体験コーナー」「野菜輪投げ」「働く自動車展」などの楽しいイベントが行われた他、4年ぶりに餅まきも行われた。	⑩-3
	29	狩猟に関する理解を深める「第2回未来のハンター育成研修会」が開催。町内から5人が参加した。	⑩-5

月	日	内容	応募番号
11	3	旧上長山小学校にレストラン「上翔」オープン。同校卒業生が母校を利活用したいとの思いから実現。地産地消の美味しい食事を楽しみながら、小学校の懐かしさを感じていただくことをコンセプトに、ニジマス料理・中華そば・欧風ビーフカレーの3種類限定メニューとなっており、営業日時は土曜日・日曜日のほか土日とつながっている祝日のみで、10時30分から15時。	⑩-1
	4~5	11月1日で静岡県富士市と友好都市提携10周年を迎え、これを記念し「道の駅 雫石あねっこ」で、富士市の「道の駅 富士川(ふじかわ) 楽座(らくざ)」の outlet による「富士市物産展」を開催。併せて11月1日から11月下旬までの間、道の駅雫石あねっこ内で「富士市写真展」を開催。	⑩-2
	5	西山地区で火災防御訓練を実施。大規模建物(菊の司酒造(株)の工場)の火災を想定し、飛び火警戒を併せた実践的な訓練を行った。	⑩-3
	8	道の駅雫石あねっこに「足湯」が完成。より一層の集客に向け来春以降本格運用予定。	⑩-4
その他		全国的にクマ被害が増加。県内でも連日のようにクマの目撃情報などがでるなか、本町も例外なくクマによる被害が多数発生。8/19朝には散歩をしていた男女2人がクマに襲われケガをする事件が発生した。また、10/3にはキノコ採りをしていた男性がクマに襲われる被害が発生した。	他-1
		旧南畑小学校などで「エムズスポーツクラブ」を運営する(株)M・S・C(松村俊介社長、本社秋田市)に所属する南一輝選手が、ベルギーで開かれた体操世界選手権で男子団体で金メダル、種目別ゆかで銀メダルを獲得。10/28~29には旧南畑小学校で南選手との交流イベントが開かれた。	他-2
		旧上長山小学校と葛根田川水辺公園周辺で、デイキャンプを主としたアウトドアアクティビティを行う「ゆるゆるデイキャブフェア」を8月5日~10月15日まで開催。延べ883人が来場。来場者へのアンケート調査により効果検証し、次年度以降の取り組みに反映される予定。	他-3
		過去最多である22回の熱中症警戒アラート発表になるなど、記録的な猛暑に見舞われた岩手県。雫石町の今夏最高気温は34.8℃。9月中旬まで最高気温が30℃を超えるなど厳しい暑さが続いた。	他-4